

ACIでも作品賞

望洋楼 国内・米国の2冠達成

全生も参画

全国生コンクリート工業組合連合会がプロジェクトに参加した福

井県坂井市にある高級旅館「望洋楼」(ほつよろろ)が10月30日、

今年の米国コンクリート学会(ACI)作品賞で、低層建築部門の

最優秀賞を受賞した。今年度の日本コンクリート工学会(JCI)の

作品賞に続き、2冠を達成した。表彰式には東京大学の友寄篤助教ら4人が参加した。



福井県坂井市に建つ高級旅館



トロフィーを掲げる友寄助教(中央)

「望洋楼」は日本海に面したコンクリート打ちっ放しの建築物。ウレタン塗料型枠によるフラットな平面、杉板型枠による表面模様で伝統的な木造の数寄屋作りも意識された。また、日本海に面する

建物であることから、飛来塩分への対応策として、使用材料には高炉セメントB種を使用したほか、かぶり厚さも十分にとって塩化物イオン抵抗性を高めた生コンJIS(A5308)に適合したコンクリートを使った。さらに乾燥収縮ひび割れ抑制対策として単位水量を1m³当たり165kgとし、収縮低減剤も使用した。これらは寺前生コンあわら工場で試し練りを行って性能を確認しており、日本建築学会の標準仕様書(JASS5、鉄筋コンクリート工事)に定められた低収縮等級1「650×10⁶」も満足

した。

今回表彰されたメンバーは次の通り(敬称略)▽第一望洋楼▽空間空想▽KAP▽SH ARCHITECTS & DESIGN▽明野設備研究所▽田中建設▽寺前生コン▽全国生コンクリート工業組合連合会▽JUST.WILL▽コンクリート用化学混和剤協会▽東京大学